

## 市民組織の自己診断ツール

### 「組織を支える 17 の視点」の活用について

「組織を支える 17 の視点〔自己診断シート〕」は、組織基盤強化につながる団体の組織力の現状把握（基本的な項目の意識・認識の状況）を目的としています。

- ・組織の活動は、活動に関わる人たちの意識によって変化します。様々な期待や考え方をを持った関係者が、それぞれを認めあいながら組織の活動目的に向かっていくこと（コミュニケーション）や、組織を支えている人たちの意欲（モチベーション）が、組織基盤強化につながると考えています。
- ・本自己診断では、着目すべき項目を「組織を支える 17 の視点」としてまとめ、意識・認識の共有に活用できるよう作成しています。集計結果表(報告書)は、マネジメントの視点を使って整理し客観的に現状把握できるよう構成しています。
- ・自己診断の実施によって、組織の活動に関わる人たちへの各設問に対する問いかけから意識・認識の現状を数値化し、組織の自己診断を可能にしています。

注)「組織を支える 17 の視点」は、活動を振り返り組織基盤強化につなげるための自己診断として作成したものです。

制作・発行 : 認定特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構  
〒251-0052  
神奈川県藤沢市藤沢 577 番地寿ビル 301 号室  
TEL : 0466-53-7366  
URL : <http://f-npon.jp/>  
Email : [f-npoc@shonanfujisawa.com](mailto:f-npoc@shonanfujisawa.com)

## 1. 「17の視点」自己診断シート（回答紙）を使った自己診断の進め方

### (1) 自己診断実施の申し込みから記入者への回答紙の配布

- ・回答紙は、弊団体（藤沢市民活動推進機構）もしくは、本事業にご協力いただいている中間支援組織（各 NPO 支援センター等）から紙面又は PDF データでお受け取りください。
- ・記入者への回答紙の配布は、回答紙表紙の右肩「回答紙 No.」に連番で番号を記入し紙面で配布・回収してください。

### (2) 表紙記入欄へのご記入

- ・回答紙表紙に、団体名、団体設立年の記入欄があります。団体の基本情報として皆様にご記入をお願いいたします。
- ・記入者の属性として、団体での活動年数、役職、担当、役割等、年齢（世代）、活動の形態をご記入いただきます。この記入者の属性は、記入者のグループ分けに活用させていただきます。グループ内での回答の分散、グループ間の回答の分散を点数によって集計します。

### (3) 各設問への回答の仕方

- ・ご記入は、5名以上で行ってください。記入者数が多いほど、診断結果（データ）の信頼度が上がり、団体の実情がより明確に反映されます。
- ・回答紙記入上の留意点
  - ・一番ふさわしいと思う回答に「○」をつけてください。
  - ・記入には時間をかけず、感じたままを気軽にご回答ください。
  - ・回答右の空欄は自由記述欄です。ご自由にお使いください。
  - ・回答は、各設問について「1つの回答」をご記入ください。
  - ・回答がない場合、「5. 考えたことがない」としての処理になりますので、お手数でも必ず全問ご回答ください。

### (4) 記入者から回答紙の回収、自己診断集計用入力ファイル（Excel）への入力

- ・記入者の回答紙は、実施団体で取りまとめ、入力作業は記入者をグループ分けしてから行ってください。
- ・回答紙の入力シートはグループ別になっています。回答紙の整理の仕方、グループの作り方は、「別添：グループの作り方表」をご活用ください。
- ・自己診断集計用入力ファイル（Excel）への入力作業・弊団体へのメール送信は、各支援センターとご調整ください。
- ・グループ分けによる集計は、グループ内での意識の共有・分散と、グループ間での共有・分散とでは対応策が異なるので、両者を分けて確認できるようにしました。団体ごとにグループの作り方を工夫することで、組織内のコミュニケーションやセクショナリズムについての現状把握にご活用ください。

(5) 自己診断集計入力ファイル（Excel）の藤沢市民活動推進機構への送付、  
自己診断集計結果表の作成

- ・自己診断集計入力ファイル（Excel）はメールでお送りください。  
Email : f-npoc@shonanfujisawa.com
- ・弊団体にて集計結果表（報告書）を作成させていただきます。

(6) 実施団体への報告

- ・集計結果表（PDF）は、データをご送信いただいたメールアドレスに、2週間程でご返信させていただきます。
- ※支援センターからのデータ受取りの時は、支援センターにご返信しますので、受け取り方法を調整しておいてください。

2. 自己診断集計結果表から読み取れること

I レーダーチャートによる意識のバランス

マネジメントの項目から見た意識のバランス

- ・組織活動を「組織目的のために取り組んでいる活動」と「組織の管理体制を整える活動」に大別し、活動と管理の両面から、マネジメントの項目に合わせて意識のバランスをレーダーチャートにしています。

II 回答の分散

回答が分かれた設問から共有できていないところの確認をします。

- ・回答が分かれていることが問題になる場合と、そうでない場合があります。
- ・回答が分かれたところが多いということは、活動に関わる人たちで設問の共有が低いことになります。
- ・グループ内での分散は、直接的に活動に影響することが考えられます。

III 折線グラフによる設問別評価

各グループ間の意識の高さを表したものです。

- ・グループ間での分散が大きいということは、区分したグループ（A・B・C）間の関係への配慮が必要になってくることも考えられます。

3. さいごに

本ツールの利用の際にご不明な点がございましたら、お手数ですがご連絡ください。（連絡先は本書1ページ目に記載しています。）